

## 第4次森町行財政改革大綱の策定に係る基本的な方針について

### 1 大綱策定に係る基本的な方針

- 社会経済情勢や行財政環境の変化とともに、行政の果たすべき役割も刻々と変化を求められている。これらの変化に適切に対応するとともに、安定した、将来を見据えた行財政運営を展開する必要がある。
- こうした中、限りある行政資源（ヒト・モノ・カネ）を必要性の高い施策・事業へ優先的・重点的に配分するなど、選択と集中による資源の最適配分を図るとともに、民間の力を活用するなど行政の果たすべき役割を明確にしながら改革を推進することが必要である。

### 2 職員の基本的な姿勢

- 自治体運営の基本であり、また、自治体としての使命でもある、住民福祉の増進を図ること、最小の経費で最大の効果を挙げること、さらには、職員の質向上と組織及び運営の合理化を図ることを常に意識し、個々の職員が自発的にかつ前向きに行財政改革に取り組むよう、職員の心構えを明確にし、行財政改革を推進する。
- 地方自治体の一番の基礎となる町民に信頼される行政を創ることはもちろんのこと、さらにワンステップ進むために、常に問題意識を持って見直しに取り組むことや、新たな課題に対し積極的にチャレンジしていくことを職員共通の心構えとする。

### 3 改革推進の方策について

- 職員の育成や意欲向上を図り、社会経済情勢や行財政環境の変化に対応した、より質の高い行財政運営を推進するとともに、持続可能な財政基盤の確立を推進する。
- 公共施設等の管理の面では、機能の改変や統廃合・削減などの最適化や長寿命化を実施するとともに、地域の課題については、町民や地域コミュニティなどの各種団体との協働を積極的に推進する。